

New Tea Time Vol.24

低燃費住宅地域 No.1 を目指す

(有)やなぎたハウジング

〒321-4517 栃木県真岡市阿部品572-1

住む人を考えた
「快適・低燃費」の家造りで
地域No.1 を目指しています！



9月から電気料金の値上げが始まりましたね。「太陽光発電による余剰電力を買電し、電気を使う人（買う人）が料金を負担する」という指針です。少し前から大型家電店もハウスメーカーと結託し、太陽光パネルの事業に参入しています。初期費用も数年前に比べて安くなったと言いますし、補助金も出ています。「元がとりやすくなった」というわけです。さて、今回は今更ながら太陽光発電についてまとめてみます。耳より情報もあるかも？！

■補助金制度の利用でラクラク導入

住宅用太陽光発電システムの導入には充実した補助金制度が用意されています。

■国の補助金制度 国では、住宅用太陽光発電システム（10kW未満）の設置促進のために補助金制度を実施しています。申し込み締め切りは平成25年3月29日。公称最大出力1kWあたりのシステム価格が【55万円以下のもの場合、3.0万円/kW】【47.5万円以下のもの場合、3.5万円/kW】が交付されます。

■自治体の補助金制度 自治体によって独自に住宅用太陽光発電システムに補助金制度を実施している場合があります。ちなみに真岡市では上限12万円・栃木県では上限9万円で、いずれも予算が無くなり次第終了。（国の補助金との併用可。）期間は平成24年4月から平成25年3月まで。

■税控除について 一定の条件に沿って住宅用太陽光発電システムを導入した場合、所得税控除の対象（例：既存住宅にかかわる特定の改修工事をした場合）となります。

■自宅で電気を作ってエコノミーな暮らし

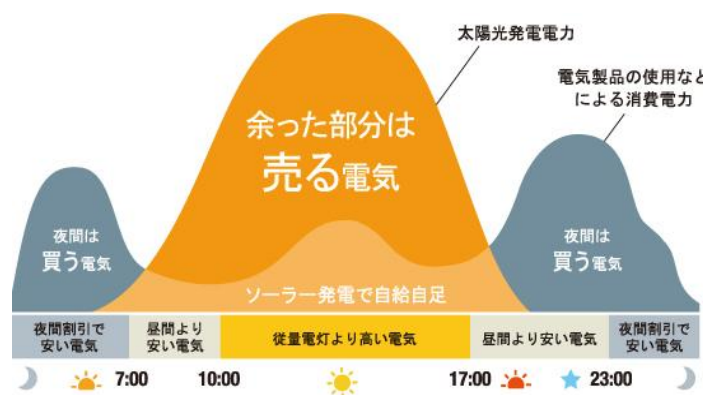
太陽光発電システムを自宅に導入すると、電気料金を安価に抑えることが期待できます。太陽が高い位置にある日中など、たくさん発電して家庭内で使いきれない電力は自動的に電力会社が通常より高価で買い取りますので経済的にもお得です。夜間の発電しない時間帯は、電力会社から通常通り電気を購入できるので心配ありません。

※上記は一般的な家庭内の電気製品の使用をイメージ化したものです。また太陽光発電は晴れの日を想定していますので、実際には天候などの条件によりこのイメージは異なります。

※太陽光発電の余剰電力買取制度：太陽光発電システムで発電した電力のうち、自宅で使いきれない余った電力は1kWhあたり42円で10年間電力会社が買い取ります。

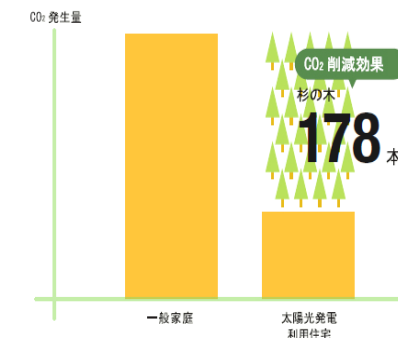
※1kWhあたり42円の買取価格は平成24年度に住宅用太陽光発電システムを導入した場合に、住宅用は向こう10年間、産業用は20年間にわたり固定して適用されます。買取価格は導入年度によって異なることがあります。

数年前までは元をとるまでに25年から30年かかるといわれ、予算に余裕のある方にはお勧めだと思いましたが、今年は違います。売電金額が高く、補助金が支給される今が大チャンスなのです。元がとれるまでに早くて5年、長くても15年の計算です。初期費用を回収した後は、新たな収入源として期待できるのです。



■CO2排出を削減します。

太陽光発電（住宅用3.8kWシステム）を利用すれば、年間約1746kgのCO2を削減できます。これは一般家庭の場合、1年間のCO2排出量が約半分以下になるということ。杉の木178本が吸収するCO2の量に匹敵します。一軒で毎年、178本の杉の木を植えているのと同じ効果！



■石油資源を節約します。



太陽光で発電した電力を利用することで、火力発電の原料である石油資源を節約できます。一般家庭（住宅用3.8kWシステム）の場合、年間約1189L（=灯油缶66本分）の節約が可能です。

毎年、1189Lの石油資源を節約しているのと同じ効果！

※上記の環境貢献数値は太陽光発電協会（JPEA）発行の「表示に関する業界自主ルールに基づき計算したものです。本システムによる年間の発電電力量は、広島県広島市で30°勾配の南向き設置を想定し4646kWh/年としています。太陽光発電によるCO2削減効果は0.315kg-CO2/kWhとしています。また、火力発電の石油消費量は0.227L kWhとしています。

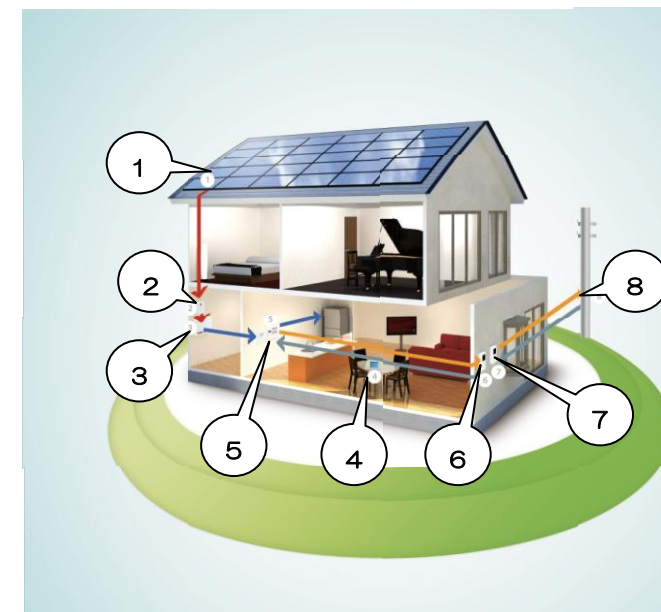
■7、8月の買い電は、原子力発電1基分だった？！

エネルギーを作りながら使い、賢く生活するというコンセプトのもとに作られているスマートハウス。図にすると下の絵のようになっています。

さて、経済産業省は26日、自然エネルギーの全量買い取り制度で認定した太陽光や風力などの再生可能エネルギーによる発電能力が、8月末時点で130万キロワット（計画も含む）に達したと発表しました。単純に出力だけを比較すると、7月の制度開始から2カ月間で大型原発1基分に相当する自然エネルギーを確保したことになります。このうちメガソーラーなどの非住宅向けの太陽光が72.5万キロワット、住宅用の太陽光が30.6万キロワットと、太陽光だけで全体の約8割を占めました。次いで風力が26.2万キロワット、バイオマス0.6万キロワット、中小水力0.1万キロワットと続いています。経産省は今年度末時点の認定設備の発電能力を250万キロワットと予測しており、「順調な滑り出し」としています。

（朝日新聞社）

屋根のある方は、今が
のせ時ってことかな～？



- 1 太陽電池モジュール
太陽の光を直流電力に変換します。
- 2 接続箱
太陽電池モジュールが作った電力...
- 3 パワーコンディショナ
太陽電池モジュールから送られた...
- 4 発電モニタセット
太陽光発電の発電状況や電力の...
- 5 住宅内分電盤
発電した電力と電力会社からの...
- 6 売電用メーター
太陽光発電で余った電力を電力会...
- 7 買電用メーター
太陽光発電で不足する電力を電...
- 8 電力会社
太陽光発電の電力が不足する際...